

カーボンニュートラルの実現に向けて

岡山県が推進している

EVシフトについて聞いてみよう

久しぶり〜!



質問してくれたのは

どねえなんちゃん

脱力系小学生。無関心な表情とは裏腹に気になる事が多く、いろんな事の真実が知りたくて、「どねえなん?」と口癖のように聞いて回っている

「EV」は「Electric Vehicle」の略で、電気自動車のことです。

2050年のカーボンニュートラル(二酸化炭素排出量の実質ゼロ)実現に向けて、世界的にガソリン車から電気自動車(以下EV)にシフトする動きが進んでいます。

岡山県でも、全国に先駆けてEVの普及を強力に推進!

今回、ちょっと辛口の小学生・どねえなんちゃんと一緒にEVの魅力を知って来ました。

Q EV(電気自動車)の魅力は? 環境に優しくて、走行性も抜群! ランニングコストがおトクなんです。

教えてくれるのは



岡山県環境文化部
新エネルギー・
温暖化対策室
藤原章男さん
岡山県のEVシフトを進める担当者。EVの魅力をもっと知ってほしいと発信中!

✔ 優れた走行性能

エンジンではなくモーターで走るEVは、騒音や振動が小さく、発進時から最大トルク(クルマのタイヤを回すための瞬間的な力)を発生。加速もパワフルでスムーズです。

三菱自動車 が
2022年6月に発売した軽EV「eクロスEV」



✔ ランニングコストが安い

車は燃費がよいほど維持費を抑えることができます。EVの燃費(電費)は、ガソリン車よりもよく、昨今の電気代の値上げをふまえても、年間のランニングコストはガソリン車よりも安くなります。

EVには
税制優遇
制度も!



✔ 環境にやさしい

ガソリンを使用しないため走行時のCO₂の排出量がゼロ。地球温暖化対策への貢献も期待されています。

エコなん
じゃな



✔ 災害時に役立つ

バッテリーに大容量の蓄電機能を持つEVは、移動可能な電源。停電や災害時など、もしもの時の非常用電源として役立ちます。



Q EVってどれくらい走るの? 新型軽EVでは約180km! 大型バッテリー搭載のEVは 約400km走行できます。

EVの不安要素として挙げられるのが走行距離の問題です。しかし最近、技術の進歩やバッテリー性能の向上により、EVの走行距離が飛躍的に伸びています。通勤や買い物といった日常生活での利用であれば、電欠の心配はほとんどありません。

ガソリン車の燃費に換算すると

軽EVは
約40km/L^{*}に相当!

*ガソリン小売価格:165円/L、電力量料金:33円/kWh、電気自動車の交流電力消費率(電費)を124Wh/kmとして試算

**季節や走り方によって燃費(電費)は変化します

長距離ドライブを楽しむなら、電力とガソリンで動くプラグインハイブリット車(PHEV)もおすすめ



よう走るなあ!



Q どこで充電できるの？

充電スポットは 県内だと280カ所以上！ 自宅に充電器を 設置すると便利です。

岡山県内の充電スポットは現在280カ所以上あります。EVを販売しているカーディーラーや大型ショッピングモール、道の駅、コンビニ、高速道路のSAなどを中心に設置されています。専用の充電器を自宅に設置すれば、効率よく安く充電できます。



県では充電設備の整備に取り組んでいます！



EV充電設備には普通充電設備と急速充電設備があります

普通充電設備

主に商業施設や宿泊施設に設置されているほか、設備がコンパクトなので自宅にも比較的簡単に設置することができます。ほぼ一晩で満充電になります。



急速充電設備

主に高速道路のSAやPA、道の駅に設置されており、30分程度でバッテリー全体の約8割の充電が可能です。

※EVの電池の容量、充電設備の能力によります

充電スポットは、このマークが目印！

地図アプリと連動したサイトで検索。

岡山県内をはじめ全国の充電スポットを検索できるサイト（「EVsmart」など）があります。長距離移動の際にチェックしておきましょう。



停電しても電動車両の電気が使えるらしいで！

EVが自宅の蓄電池になる！

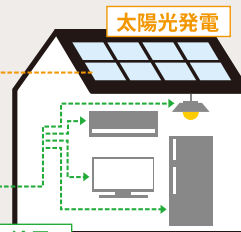


『電動ドライブステーション』の「V2H機器」。店舗への電力供給が可能

災害時の非常用電源にも！



EV・PHEVから自宅へ給電



フイツーエイチ

「V2H」という言葉をご存知ですか？

V2Hとは、「Vehicle to Home」のことで、EVやPHEVに蓄えられた電力を取り出し、自宅の電気として使用することができるシステムのことです。

EVとセットでV2H機器を導入することで、EVやPHEVをより有効に活用することができます。

一部の三菱自動車販売店に設置されている『電動ドライブステーション』では、太陽光発電システムとV2H機器を備え、停電発生時にEVやPHEVから電力を供給するデモンストレーションを行っており、EV・PHEVの魅力や災害時の価値を体感できます。



三菱自動車
「電動ドライブステーション」



「停電デモンストレーション」を体感できるコーナー



エネルギーモニターで電力の流れを確認！